

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 7年11月 4日
08時45分07秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231005 こども課こども政策係

事務事業 02396 子ども・子育て支援事業計画推進事業

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	001 1子育て その他			
事務事業	001 子ども・子育て支援事業計画推進事業			
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略	しくみ	マニフェスト		
根拠法令等	子ども・子育て支援法 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・子ども・子育て支援事業			
備考				

【事業分析】

対象	子どもや子育て中の保護者が
目的	必要な支援を受けることにより、安心して子どもを産み育てることができるようになります。
手段	安城市子ども・子育て会議を開催し、計画の進捗管理を行います。
事務内容	・第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗管理 ・子ども・子育て会議の開催

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	13,334	12,355	6,651
事業費	6,074	5,655	351
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,074	5,655	351
人件費計	7,260	6,700	6,300
正規(人)	1.10	1.00	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	子ども・子育て会議 実施回数2回 令和5年7月14日 令和5年12月25日 委員数20人	子ども・子育て会議 実施回数4回 実施日 令和6年7月30日 令和6年10月8日 令和6年12月10日 令和7年2月18日 委員数20人	子ども・子育て会議 実施予定回数1回 委員数20人

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月4日
08時45分07秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231005 こども課こども政策係

事務事業 02396 子ども・子育て支援事業計画推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
子ども・子育て支援計画（こども計画）実施率	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00
子ども・子育て会議の開催	回	2.00 2.00	0.00 4.00	1.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	法に基づき市が計画を策定し推進しています。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	こども施策のニーズは十分あります。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	計画に基づく施策は、概ね目標達成しています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	こども計画を策定しました。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	他自治体と同様の事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和2年度から令和6年度までを期間とする安城市子ども・子育て支援事業計画を推進してきました。今後は、令和7年度から5年間を期間とする安城市こども計画を推進していきます。こども・若者育成支援、こどもの貧困、少子化社会対策を含む範囲の広い計画になるため、府内組織であるこども計画推進会議を設置して、さらに連携を強化して推進していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 7年11月 4日
08時45分07秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231005 こども課こども政策係

事務事業 02404 児童遊園等維持管理事務

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	002 安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	003 児童遊園等維持管理事務			
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	しくみ	マニフェスト		
根拠法令等	安城市児童厚生施設及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	子どもやその保護者が
目的	身近な場所で安全安心に遊ぶことができるようになります。
手段	地元町内会からの要望により遊具等を設置します。日常管理（草取り・清掃等）は町内会が行い、遊具や植栽の維持管理は市が行います。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検、植栽の剪定・消毒の委託 ・町内会の要望に基づく修繕及び工事 ・町内会、地主への管理謝礼の支払い

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	63,389	63,502	75,871
国庫支出金	58,769	57,472	69,571
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	58,769	57,472	69,571
人件費計	4,620	6,030	6,300
正規(人)	0.70	0.90	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	児童遊園等整備・更新 ・修繕 遊具点検 樹木剪定	児童遊園等整備・更新 ・修繕 遊具点検 樹木剪定	児童遊園等整備・更新 ・修繕 遊具点検 樹木剪定

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年11月 4日
08時45分07秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001231005 こども課こども政策係
事務事業 02404 児童遊園等維持管理事務

【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
遊園に関する苦情	件	10.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	木製遊具の点検頻度を 2 か月毎から 1 か月毎にしました。		
理由	他自治体と同様の事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 樹木管理や遊具点検等を適宜行うとともに、町内会要望調査も行うことにより、適切に管理できています。
1次コメント (400 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400 文字)	

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 7年11月 4日
09時30分07秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231010 こども課子育て支援係

事務事業 02405 児童手当支給事務

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	001 1子育て その他			
事務事業	002 児童手当支給事務			
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	児童手当法			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・申請の受付、認定 ・現況届等、各書類の発送、受理 ・児童手当の支給（4月、6月、8月、10月、12月、2月）

【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	(単位：千円)	
			令和 7年度 予算額	
トータルコスト				
事業費				
国庫支出金	3,112,657	3,558,334	4,727,279	
県支出金	3,101,107	3,532,874	4,706,279	
地方債	2,162,464	2,391,791	3,828,210	
その他	466,841	567,203	435,894	
一般財源	0	0	0	
人件費計	471,802	573,880	442,174	
正規(人)	11,550	25,460	21,000	
	1.75	3.80	3.00	
その他経費	0	0	0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	受給対象児童数 14,689人	受給対象児童数 17,668人	受給対象児童数 17,500人
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月4日
09時30分07秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001231010 こども課子育て支援係
事務事業 02405 児童手当支給事務

【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	児童手当法に基づき、受給者の居住地において実施する事業です。		
3 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
4 理由	子育て家庭の経済的負担を軽減するため支援が必要です。		
5 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
6 理由	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	
7 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
8 理由	各届出の電子化を進めています。		
9 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
10 理由	国の制度であり、他の自治体も同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	児童の健全育成と保護者の経済的不安を軽減するため国の制度に基づいた給付を行っており、今後も継続して事業を実施します。また、転入や出生等に伴う申請など必要な手続きについて周知を行います。令和6年10月の法改正により高校生年代まで拡大、多子加算の拡充に伴い、事業費が増額しました。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和7年11月4日
09時30分07秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231010 こども課子育て支援係

事務事業 02470 ひとり親家庭支援事業

電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	004 子ども・子育て家庭の状況に応じた支援			
事務事業	001 ひとり親家庭支援事業			
事業期間	平成元年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的／政策的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・ひとり親家庭交流支援事業 ・母子家庭等自立支援対策事業 ・母子等福祉資金支援事業 ・ひとり親家庭生活支援事業 令和2年度より子育て支援課児童家庭係から子育て支援課児童給付係へ移管されます。			

【事業分析】

対象	ひとり親家庭が
目的	就業できることで家庭生活の安定と向上を実現することができるようになります。
手段	ひとり親家庭への就労支援や技術取得に向けた給付金支給事務を行うとともに、家庭生活支援員の派遣やひとり親家庭自立支援員による家庭内の諸問題に対する指導・助言等を行います。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・給付金の事前の面談、申請受付、書類審査、給付金の支給 ・家庭生活支援員派遣調整 ・相談業務ほか

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	23,532	15,738	24,956
県支出金	16,602	8,703	14,456
地方債	11,500	5,788	10,250
その他	384	201	289
一般財源	0	1	0
人件費計	4,717	2,713	3,916
正規(人)	6,930	7,035	10,500
その他経費	1.05	1.05	1.50
	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	各種給付金支給 23人 生活支援員派遣 7日	各種給付金支給 16人 生活支援員派遣 2日	各種給付金支給 5人 生活支援員派遣 8日
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年11月 4日
09時30分07秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001231010 こども課子育て支援係
事務事業 02470 ひとり親家庭支援事業

【定量評価】

指標名		単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
給付金支給人數	人		5.00 23.00	0.00 16.00	5.00 0.00
支援員派遣日数	日		8.00 7.00	0.00 2.00	8.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	2
2 理由	ひとり親の居住地において きめ細やかな支援が必要です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	安定した日常生活を営む上で支援が必要です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	周知が浸透し、目標を上回っています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	3
4 理由	国、県の制度によるところが大きいため、見直しが困難です。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	他の自治体においても同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400 文字)	ひとり親家庭が安定した仕事に就き、自立した生活を送ることができるようにするために必要な事業です。引き続き、適切な助言や指導、制度の周知を行うとともに、支援内容の検討を行い、ひとり親家庭が自立できるよう努めます。
2次コメント (400 文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400 文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400 文字)	

事務事業評価シート（1/2）

5 頁
令和 7年11月 4日
09時30分07秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231010 こども課子育て支援係

事務事業 02477 児童扶養手当・遺児手当支給事務

電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	001 1子育て その他			
事務事業	003 児童扶養手当・遺児手当支給事務			
事業期間	昭和36年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	児童扶養手当法、安城市遺児手当支給条例、愛知県遺児手当支給規則 平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・児童扶養手当支給事務 ・遺児手当事務 令和2年度より子育て支援課児童家庭係から子育て支援課児童給付係へ移管されます。			
備考				

【事業分析】

対象	ひとり親家庭が
目的	手当の支給を受けることで安定した日常生活を送り、また、就労及び自立できるようになります。
手段	18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）の児童を養育している人に支給します。
事務内容	・申請受付、審査、認定 ・手当の支給（5月・7月・9月・11月・1月・3月） ・愛知県遺児手当の受付、県への書類送付、認定通知書等の発送

【コスト】

	令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	(単位：千円)	
			令和 7年度 予算額	
トータルコスト				
事業費				
国庫支出金	524,825	535,979	580,067	
県支出金	501,395	512,194	555,567	
地方債	148,197	149,914	164,666	
その他	0	0	0	
一般財源	353,198	362,280	390,899	
人件費計	23,430	23,785	24,500	
正規（人）	3.55	3.55	3.50	
その他経費	0	0	0	

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	児童扶養手当受給者数 1,104人 遺児手当受給者数 1,508人	児童扶養手当受給者数 1,058人 遺児手当受給者数 1,461人	児童扶養手当受給者数 1,000人 遺児手当受給者数 1,420人

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和7年11月4日
09時30分07秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231010 こども課子育て支援係

事務事業 02477 児童扶養手当・遺児手当支給事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
児童扶養手当受給者数	人	1,000.00 1,104.00	0.00 1,058.00	1,000.00 0.00
遺児手当対象者数	人	1,420.00 1,508.00	0.00 1,461.00	1,420.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	ひとり親家庭に対し、広く支援を行います。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	生活の安定と自立促進に寄与するため支援を行う必要があります。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
1	対象者に対し、適切に支給を行っています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	各届出の電子化を進めています。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	多くの自治体において、同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	相対的に所得水準が低い傾向にあるひとり親家庭が、安定した生活を送りつつ自立することができるよう、引き続き、事業を継続していきます。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
3次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和7年9月26日
16時50分41秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231015 こども課こども家庭係

事務事業 02461 家庭児童相談事業

電話番号 0566-71-2272

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	004 子ども・子育て家庭の状況に応じた支援			
事務事業	002 家庭児童相談事業			
事業期間	平成16年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	しくみ	マニフェスト		
根拠法令等	児童福祉法第10条、25条、児童虐待防止法、安城市虐待防止地域協議会設置要綱			
備考	令和6年度から、こども家庭センターを設置し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に支援を行っています。			

【事業分析】

対象	児童養育上の諸問題のある家庭が
目的	子どもの様々な問題を相談できます。
手段	・児童家庭相談 子どものさまざまな問題の相談に応じ、保護者や関係機関とともに問題解決を図ります。 ・虐待等防止地域協議会（児童部会）を中心に児童相談センター、保健所、警察、民生委員・児童委員等と連携して子どもの人権を守る体制を支援します。（虐待等防止地域協議会、実務者会議、個別ケース検討会議）
事務内容	・相談や通報が入った場合に迅速な対応を行います。 ・関係機関との情報共有や問題解決のための会議の開催をします。 ・児童虐待防止等の啓発活動を行います。

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	53,970	54,678	57,319
事業費	7,770	7,778	8,319
国庫支出金	156	122	133
県支出金	117	122	133
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,497	7,534	8,053
人件費計	46,200	46,900	49,000
正規(人)	7.00	7.00	7.00
その他経費	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待(103件) ・養護相談(129件) ・DV相談(17件) ・その他(178件) ・継続(235件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待(72件) ・養護相談(179件) ・DV相談(9件) ・その他(184件) ・継続(221件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待 ・養護相談 ・DV相談 ・その他 ・継続

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年9月26日
16時50分41秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231015 こども課こども家庭係

事務事業 02461 家庭児童相談事業

【定量評価】

指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
要保護児童相談件数	件	320.00 427.00	0.00 444.00	400.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	法令に基づき、市が実施することとされています。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
1	相談件数は増加しており、十分なニーズがあります。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
1	相談件数が増加していますが、適切な対応をしています。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
2	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	児童相談システムを活用し、事務の効率化を図っています。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
1	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	様々な問題を抱えた家庭に対し、適切な相談対応をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度より、こども家庭センターを設置し、全ての妊産婦、子ども、子育て家庭に対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に支援を行っています。 令和6年度は、母子保健・児童福祉の各担当者による合同ケース会議を48回開催。相談件数は、この2年で100件以上増加しており、ニーズの高まりが見られるため、引き続き子育てに困難を抱える家庭等に対し、包括的な支援を切れ目なく行う必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和7年9月26日
16時50分41秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231015 こども課こども家庭係

事務事業 02478 母子生活支援施設入所事業

電話番号 0566-71-2272

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	004 子ども・子育て家庭の状況に応じた支援			
事務事業	003 母子生活支援施設入所事業			
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	児童福祉法第23条、安城市児童福祉法施行細則、安城市母子・女性緊急避難保護事業要綱			
備考				

【事業分析】

対象	DVを受けた母子あるいは生活困窮により児童福祉に欠ける母子が
目的	保護され、自立支援施設で生活の基盤を作り、母子で自立した生活ができるように支援します。
手段	女性相談を通じてDV、経済困窮等により母子生活支援施設への入所が必要と思われる母子世帯に施設への入所手続きを行い、一時的に施設での生活をすることにより、社会への自立を支援します。 また、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊婦に対して、助産施設へ入所して助産を受けるための支援をします。
事務内容	相談・申請等受付、承認通知、施設への連絡調整、支払事務、負担金の徴収

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	16,218	9,618	4,515
県支出金		4,804	2,255
地方債		2,402	1,127
その他		0	0
一般財源		1	0
人件費計	2,411	1,133	2,510
正規(人)	6,600	6,700	7,000
その他経費	1.00	1.00	1.00
その他	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	<p>【母子生活支援施設】 (世帯数) 前年度からの継続入所 2世帯 新規入所 3世帯 退所 5世帯</p> <p>【助産施設】(世帯数) 利用なし</p>	<p>【母子生活支援施設】 (世帯数) 前年度からの継続入所 0世帯 新規入所 2世帯 退所 1世帯</p> <p>【助産施設】(世帯数) 利用なし</p>	<p>【母子生活支援施設】 (世帯数) 前年度からの継続入所 新規入所 退所</p> <p>【助産施設】(世帯数)</p>

事務事業評価シート（2 / 2）

4 頁
令和 7年 9月26日
16時50分41秒

評価年度 令和 6 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001231015 こども課こども家庭係
事務事業 02478 母子生活支援施設入所事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
一時保護後に母子生活支援施設に入所した母子の割合	%	40.00 60.00	0.00 100.00	40.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準			ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない		1
		2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
		3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
理由	法令に基づき、市が実施することとされています。				
2	必要性 市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある		1
		2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
		3	市民ニーズはない又は不明である		
理由	DVや生活困窮など、緊急時の入所先として必要です。				
3	有効性 目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		1
		2	目標を下回る進捗状況である		
		3	進捗はかなり遅れている		
理由	一時保護後、適切に母子生活支援施設に入所させることができた。				
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		2
		2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
		3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
理由	緊急時に迅速に対応できるよう、事務改善に努めています。				
5	公平性 事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		1
		2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
		3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	緊急時に迅速に入所させるなど、適正に対応しています。				

【1次評価結果】

【「次計画結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (4 0 0 文字)	本事業はDVなどによる緊急の対応を必要とする場合もあり、DV対応マニュアルに基づき、迅速かつ円滑な対応ができるよう取り組みました。また、退所後の生活の安定や自立の促進を目的とした継続的な支援も必要に応じ行っています。

【2次評価結果】

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1/2）

1 頁
令和 7年11月14日
15時02分10秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231015 こども課こども家庭係

事務事業 02479 子ども養育支援事業

電話番号 0566-71-2272

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	002 安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	004 子ども養育支援事業			
事業期間	平成17年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目
重点戦略	しくみ	マニフェスト		
根拠法令等	児童福祉法第6条、第6条の3、第21条の2			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度に以下の事業を統合。 ・子育て短期支援事業 ・養育支援訪問事業 令和6年度の改正児童福祉法により、以下の事業を開始。 ・子育て世帯訪問支援事業 ・産前産後支援事業（市独自事業）			

【事業分析】

対象	家庭での養育が一時的に困難な場合や、出産後の育児を補助してくれる人がいない家庭が
目的	児の養育に悩んだり育児がうまくいかない場合など、支援員の派遣などにより身近に相談ができたり家事の援助を受けることで改善していくことができるようになります。
手段	ヘルパーや保健師、保育士等の派遣をします。また、一時的に養育が困難な場合は、委託先施設へ入所することもできます。
事務内容	委託施設や事業者との契約事務、利用者と派遣者との調整など、料金の収受事務、利用支払事務

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	25,646	13,110	14,818
県支出金	19,046	6,410	7,818
地方債	368	575	723
その他	368	575	723
一般財源	0	0	0
人件費計	18,308	5,070	6,171
正規(人)	6,600	6,700	7,000
その他経費	1.00	1.00	1.00
	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	養育支援訪問事業 訪問家庭件数（延べ） 40件	産前産後支援事業 訪問家庭件数 21件 子育て世帯訪問支援事業 訪問家庭件数 15件 養育支援訪問事業 訪問家庭件数 33件 子育て短期支援事業 利用延べ日数 17日	産前産後支援事業 利用延べ日数 子育て世帯訪問支援事業 利用延べ日数 養育支援訪問事業 利用延べ日数 子育て短期支援事業 利用延べ日数

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月14日
15時02分10秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231015 こども課こども家庭係

事務事業 02479 子ども養育支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
養育支援訪問事業訪問家庭件数(令和7年度の単位は人日)	件	58.00 40.00	0.00 33.00	127.00 0.00
子育て短期支援事業施設利用日数合計(令和7年度の単位は人日)	日	42.00 11.00	0.00 17.00	19.00 0.00
子育て世帯訪問支援事業訪問家庭件数(令和7年度の単位は人日)	件	0.00 0.00	0.00 15.00	394.00 0.00
産前産後支援事業訪問家庭件数(令和7年度の単位は人日)	件	0.00 0.00	0.00 21.00	350.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	法令に基づき、市が実施することとされています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	社会情勢の変化により、市民ニーズは十分にあります。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	2
3 理由	目標値は下回りましたが、支援が必要な家庭には対応できました。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	支援が必要な家庭、委託事業者の意見を聞いて実施しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	養育支援が必要な家庭について、適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和6年度より、養育支援訪問事業の家事・育児支援を子育て世帯訪問支援事業と産前産後支援事業に分け、業務を行う委託事業者を増やし、育児支援の充実を図っています。 子育て短期支援事業においても、里親を含め委託先を拡大し、利用者の要望に対応できるよう努めています。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

事務事業評価シート（1 / 2）

1 頁
令和 7年11月 7日
15時37分12秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02440 ファミリー・サポート・センター事業

電話番号 0566-72-2315

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画
重点戦略	001 しくみ
分野別	001 1子育て
施策の取組	002 安心して生み育てられる環境の整備
事務事業	005 ファミリー・サポート・センター事業
事業期間	平成14年度～
実施方法	直営
会計区分	一般会計
重点戦略	マニフェスト
根拠法令等	児童福祉法第21条の9、ファミリー・サポート・センター事業実施要綱
備考	

【事業分析】

対象	子育ての手伝いをしてほしい人が
目的	安心して活動を依頼することができるようになります。
手段	ファミリー・サポート・センターとは「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）」が会員となってお互いに助け合う会員組織です。対象児童は0歳から小学校6年生までです。
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・広報活動・会員の相互援助活動の調整等・入会説明会・講習会、研修会、交流会

【コスト】

【コスト】	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	7,883	8,509	9,250
事業費	4,583	5,159	5,750
国庫支出金	1,102	1,173	1,166
県支出金	1,016	1,107	1,133
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,465	2,879	3,451
人件費計	3,300	3,350	3,500
正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・あんじょう広報(4回) ・ファミサポだより(3回)・会員の相互援助活動の調整等・入会説明会(24回)・講習会(4回)、研修会(3回)、交流会(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんじょう広報(4回) ・ファミサポだより(3回)・会員の相互援助活動の調整等・入会説明会(24回)・講習会(5回)、研修会(3回)、交流会(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・あんじょう広報 ・ファミサポだより ・会員の相互援助活動の調整等 ・入会説明会 ・講習会、研修会、交流会

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月7日
15時37分12秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02440 ファミリー・サポート・センター事業

【定量評価】

指標名		単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
会員数	人		900.00 926.00	0.00 925.00	930.00 0.00
活動件数	回		4,000.00 3,504.00	0.00 4,361.00	4,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	民間等でサービスを行っていません。		
3 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
4 理由	活動件数が増加しており、市民ニーズは十分にあります。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
5 理由	活動の依頼を充足するだけの提供ができています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
5 理由	市内企業と連携した広報活動により会員募集を行っています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	他市の事業と比較し適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	会員数の合計は若干の減少がみられます、サービスを提供する提供会員及び両方会員の数は増えています。そのため、活動件数は増加しています。 提供会員や両方会員の募集啓発を行い、更なる会員数の増加に努める必要があります。 令和6年度から、市内のドラッグストアにチラシを新たに設置、市内小中学校の全家庭とスクールアシスタント等にチラシを配布し、会員数の増加を図りました。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和7年11月7日
15時37分13秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02441 つどいの広場事業

電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	002 安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	006 つどいの広場事業			
事業期間	平成17年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等	児童福祉法第21条の9、安城市地域子育て支援拠点事業実施要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の親子が
目的	気軽に交流できる場所として利用できます。
手段	乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、子育てについて打ち解けた雰囲気の中で語り合い、親子で遊びながら交流することで、精神的な安定をもたらし、安心して子育てができる環境を提供します。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

【コスト】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	26,480	26,555	27,629
県支出金	19,880	19,855	20,629
地方債	4,584	5,396	5,522
その他	4,584	5,396	5,522
一般財源	0	0	0
人件費計	10,712	9,063	9,585
正規(人)	6,600	6,700	7,000
その他経費	1.00	1.00	1.00
	0	0	0

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとスペース 行事 年12回 ・北部ほっとスペース 行事 年12回 ・アンフォーレほっとスペース 行事 年12回 ・ほのぼの広場 講習等 年17回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとスペース 行事 年12回 ・北部ほっとスペース 行事 年12回 ・アンフォーレほっとスペース 行事 年12回 ・ほのぼの広場 講習等 年17回 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほっとスペース 行事 年12回 ・北部ほっとスペース 行事 年12回 ・アンフォーレほっとスペース 行事 年12回 ・ほのぼの広場 講習等 年17回

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 7年11月 7日
15時37分13秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001231020 こども課あんぱく係
事務事業 02441 つどいの広場事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
利用人数	人	25,000.00 42,698.00	0.00 42,869.00	42,900.00 0.00
つどいの広場設置数	か所	4.00 4.00	0.00 4.00	4.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	1 必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	民間事業は限定的であり、市の委託事業として実施しています。	市民ニーズの有無	2 必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
1	交流の場、相談の場として市民ニーズは十分にあります。	目標に対する進捗状況	3 有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
2	目標はかなり遅れている		
	利用者は、目標を上回りました。	事業の効率化・事業費の削減	4 効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
1	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
	可能な範囲で利用方法を見直しました。		
1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	5 公平性
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	利用者は増加傾向にありますが、民間事業者による室内遊び場施設の設置により利用者が減らないように利用者の声を聞きながら、より充実した施設運営に努め、利用者の増加を図ります。 「つどいの広場事業」は、地域の子育て支援の一環として親子が集まり交流し、情報が共有できる場を提供する活動です。そのため、「社会的なつながりの促進」「情報共有の場」「子ども同士の交流」「子育てストレスの軽減」「地域の情報配信」「多様なプログラムの提供」など、地域の子育て環境を向上させるために必要な取り組みを行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5 頁
令和 7年11月 7日
15時37分13秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02443 地域子育て支援センター事業

電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	002 安心して生み育てられる環境の整備			
事務事業	007 地域子育て支援センター事業			
事業期間	平成 9年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	児童福祉法第21条の9、安城市地域子育て支援拠点事業実施要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の家庭が
目的	安心して子育てができるようになります。
手段	育児に不安を抱える家庭への電話相談などの相談指導や、育児講座などの育児支援、子育てサークルの育成・支援、子育て情報誌「さえねっと」の発行などを行います。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	38,499	46,099	50,619
県支出金	27,279	34,709	38,719
地方債	9,653	10,075	9,830
その他	8,362	8,669	8,857
一般財源	0	0	0
人件費計	9,264	15,965	20,032
正規(人)	11,220	11,390	11,900
その他経費	1.70	1.70	1.70
	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	子育ておとぎ話 12回 育メン広場 11回 赤ちゃん広場 24回 ふたごみつこ 24回 育児講習会 13回 パパ講座 3回 子育て相談 3回 F Sママ講座 20回 親子遊び講習会 9回	子育ておとぎ話 12回 育メン広場 11回 赤ちゃん広場 24回 ふたごみつこ 24回 育児講習会 13回 パパ講座 3回 子育て相談 4回 F Sママ講座 20回 親子遊び講習会 9回	子育てホットタイム パパ育広場 赤ちゃん広場 ふたごみつこ支援 育児講習会 パパ講座 子育て相談 F Sママ講座 親子遊び講習会

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和7年11月7日
15時37分13秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001231020 こども課あんぱく係
事務事業 02443 地域子育て支援センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用延べ人数	人	25,000.00 30,015.00	0.00 30,882.00	31,000.00 0.00
子育て支援センター設置数	か所	5.00 5.00	0.00 5.00	5.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	民間サービスは一部地域のため、市で事業を行う必要があります。		
	市民ニーズは充分にある	市民ニーズの有無	必要性
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	交流の場、相談の場として市民ニーズは十分にあります。		
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	利用延べ人数は目標を上回りました。		
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	利用者アンケート等から講座等の開催に取り組みました。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
理由 利用延べ人数は目標を上回りました。			

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地域子育て支援センターは、地域の子育て家庭を支援するための重要な施設であるため、今後も「子育て情報の提供」「交流の場の提供」「専門的な支援の提供」「安全な遊び場の提供」「地域コミュニティの強化」「子育て支援プログラムの実施」「子どもの健全な成長の促進」を行い、地域全体の育成環境を向上させるために重要な役割を果たします。 また、他自治体や民間事業者でも様々な講座を行っているため参考にするとともに、利用者アンケートによりニーズを捉え、充実した施設運営に努めます。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7 頁
令和 7年11月 7日
15時37分13秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02446 児童センター事業

電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	005 子どもの居場所づくり			
事務事業	001 児童センター事業			
事業期間	昭和58年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	マニフェスト			
根拠法令等	児童福祉法第40条、安城市児童厚生施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	18歳未満の児童が
目的	地域の子どもの居場所としての児童センターを安全に気持ちよく利用できるようになります。
手段	児童の健全な遊び場の確保、健康増進、情操を高めます。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者とのかかわり（子育ての相談等） ・定期講座の開催（囲碁・将棋教室、卓球教室） ・親子参加行事の開催（乳幼児の親子対象） ・小中学生対象の行事の開催

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	86,551	106,721	119,148
国庫支出金	79,951	100,021	112,148
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	79,951	100,021	112,148
人件費計	6,600	6,700	7,000
正規(人)	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 月1回 ・乳幼児親子遊び 月1回 ・0歳親子サロン 月1回 ・乳幼児講座 月20~25回 ・赤ちゃん触れ合い体験 年1~2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 月1回 ・乳幼児親子遊び 月1回 ・0歳親子サロン 月1回 ・乳幼児講座 月20~25回 ・赤ちゃん触れ合い体験 年1~2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 ・乳幼児親子遊び ・0歳親子サロン ・乳幼児講座 ・赤ちゃん触れ合い体験

事務事業評価シート（2/2）

8頁
令和7年11月7日
15時37分13秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02446 児童センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
児童センター利用者数	人	144,000.00 251,126.00	0.00 293,706.00	294,000.00 0.00
児童センター設置数	か所	9.00 9.00	0.00 9.00	9.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
1	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	民間等でサービスを行っていません。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
1	市民ニーズはない又は不明である		理由
	遊び場や交流の場として市民ニーズは十分にあります。		
	目標に対する進捗状況	目標に対する進捗状況	有効性
1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
2	利用者数は、目標を上回りました。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
1	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		理由
	利用者ニーズを考え、行事等の開催に取り組みました。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	事業規模・サービス水準	公平性
1	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	児童センターは、子どもたちが健全な成長を支援するための重要な施設です。その必要性としては「社会性の育成」「安全な遊び場の提供」「学び場としての機能」「保護者の支援」「心の支援」「放課後の居場所」があげられ、子どもたちの成長や地域社会において重要な役割を果たしています。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9 頁
令和 7年11月 7日
15時37分13秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02450 子育て支援総合拠点施設管理事業

電話番号 0566-72-2319

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	001 1子育て その他			
事務事業	006 子育て支援総合拠点施設管理事業			
事業期間	平成23年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
重点戦略		マニフェスト		
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の市民が
目的	快適に施設利用ができるようになります。
手段	施設の保守点検や清掃など委託により管理を行うとともに、必要な修繕等を実施します。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木消毒及び剪定業務委託 ・自動ドア・GHP保守、非常通報装置・消防設備、遊具点検等委託 ・施設清掃業務、施設警備委託 ・不具合箇所の修繕

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費	8,206	8,977	9,532
国庫支出金	4,906	5,627	6,032
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,906	5,627	6,032
人件費計	3,300	3,350	3,500
正規(人)	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	施設管理委託9件及び施設修繕5件等を実施	施設管理委託10件及び施設修繕4件等を実施	施設管理委託及び施設修繕等を実施予定
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（2/2）

10 頁
令和 7年11月 7日
15時37分13秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001231020 こども課あんぱく係

事務事業 02450 子育て支援総合拠点施設管理事業

【定量評価】

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない 2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
2 理由	民間等でサービスを行っていません。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
2 理由	市民ニーズに応えるため、快適な施設環境整備が必要です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
3 理由	適切な施設の維持管理ができます。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
4 理由	安心して施設を利用してもらうための修繕を実施しました。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
5 理由	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	樹木消毒や剪定、自動ドア、GHP保守、非常通報装置、消防設備、遊具点検等を行い、安全に施設が利用できるように定期的な点検や修繕を行い、適正に施設管理を行っています。 未就学児とその親が利用する施設ですが、施設の老朽化があり夏季の暑さ対策が課題となっています。
2次コメント (400文字)	

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 7年11月 4日
08時59分06秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1次評価

所属 0001231028 こども課児童クラブ係

事務事業 02445 児童クラブ事業

電話番号 0566-72-2319

【基本情報】

計画次数	03 第9次安城市総合計画			
重点戦略	001 しくみ			
分野別	001 1子育て			
施策の取組	005 子どもの居場所づくり			
事務事業	002 児童クラブ事業			
事業期間	平成 4年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
重点戦略	しくみ	マニフェスト		
根拠法令等	児童福祉法、安城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、安城市児童クラブ規則			
備考	市長マニフェストに児童クラブ時間延長が掲げられています。 平成29年度より小学校6年生までに対象を拡大し受け入れを始めました。 令和2年度より子育て支援課子育て支援係から子育て支援課児童クラブ係に移管されました。			

【事業分析】

対象	小学校に就学している児童の保護者が、
目的	就労等により家庭にいない昼間等に、（小学校区内の）児童クラブに児童を預けることができます。
手段	昼間保護者のいない家庭の児童を対象に、適切な遊び及び生活の場としての児童クラブを設置し、児童の健全育成の向上を図ります。
事務内容	公立58か所、民間6か所で児童クラブを実施しています。 開所時間は、放課後が下校時から午後7時まで、長期休業期間中が午前7時30分から午後7時までです。 開所日は、月曜日から土曜日までです。（土曜日は拠点クラブ9か所のみ開所）

【コスト】

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト			
事業費			
国庫支出金	445,250	530,333	605,884
県支出金	392,450	468,023	540,784
地方債	59,225	65,397	71,648
その他	0	65,397	71,648
一般財源	127,817	124,686	141,520
人件費計	146,183	212,543	255,968
正規(人)	52,800	62,310	65,100
その他経費	8.00	9.30	9.30
	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	定員：2,540人 9月より祝日開所開始 (桜井・二本木)	定員：2,540人 祝日開所(桜井・二本木) 民間クラブ2施設が事業開始	定員：2,540人 祝日開所(桜井・二本木) 民間クラブ1施設が事業開始

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和7年11月4日
08時59分06秒

評価年度 令和6年度 進捗区分 1次評価
所属 0001231028 こども課児童クラブ係
事務事業 02445 児童クラブ事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値				
指標名	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度
児童クラブ登録児童数	人	2,300.00 2,418.00	0.00 2,638.00	2,800.00 0.00
児童クラブ設置数	か所	61.00 61.00	0.00 63.00	65.00 0.00

【定性評価】

ランク	基準	評価の観点	カテゴリ
2	国・県・民間等がサービスを行っていない	国・県・民間等との補完性	必要性
	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある		
	国・県・民間等が同様のサービスを行っている		
1	民間児童クラブに対する補助事業の拡大が必要です。	市民ニーズの有無	必要性
	市民ニーズは充分にある		
	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している		
	市民ニーズはない又は不明である		
1	登録児童数は増加しており、ニーズはあります。	目標に対する進捗状況	有効性
	目標を上回る又は目標どおりの進捗である		
	目標を下回る進捗状況である		
	進捗はかなり遅れている		
1	民間児童クラブが新たに設置されました。	事業の効率化・事業費の削減	効率性
	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている		
	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる		
	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない		
1	申請手続きのオンライン化を進め、申請者の利便性を向上しました	事業規模・サービス水準	公平性
	環境変化や他自治体等と比較して適正である。		
	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。		
	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。		
1	入会調整を行うことで、適正に実施できました。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	共働き世帯の増加により児童クラブの入会希望者は年々増加しています。受入定員の拡大が必要ですが、小学校空き教室の減少や支援員などの人員不足が課題となっています。支援員の確保にむけて、求人サイトの活用や大学向けの求人案内に注力し、採用時期の見直しや研修・面談の実施を増やすなど継続的に勤務できるように支援員へのサポートを強化します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。